

科目名	ファッションデザイン	学年	3年	使用教材	【教科書】ファッションデザイン 文部科学省
		必修・選必 コース選・デザインコース必			【副教材】AFT色彩検定2級編 他
		単位数	9単位		

学習目標

ファッションデザインの基礎、発想と表現法などに関する知識と技術を習得させ、ファッションを創造的にデザインする能力と態度を育てる。

学習方法

- 実践的・体験的な学習活動を通して、ファッションデザインに関する分野を科学的・総合的にとらえていくことに努める。
- 実際の生活に生かせるよう、学んだことを自分自身の問題ととらえ、ファッションデザインの知識・技術をよりよくするための工夫を考え、実践する。
- 授業で活用するワークシートを上手に活用して、学習が確実に自分のものとなるよう、より深い理解をめざして取り組む。

学習評価

- 次の4つ観点に基づき、学習内容のまとめりごとに評価を行い、学年末に5段階の評定に総括する。

①関心・意欲・態度	ファッションデザインの基礎、発想と表現法などについて関心をもち、その充実向上を目指して意欲的に取り組むとともに、ファッションを創造的にデザインするために必要な実践的な態度を身に付けようとしている。
②思考・判断	ファッションデザインの基礎、発想と表現法などについて見直し、ファッションを創造的にデザインするために思考し、適切に判断し、工夫し創造する能力を身に付けている。
③技能・表現	ファッションデザインの基礎、発想と表現法や、ファッションを創造的にデザインするために必要な基礎的・基本的な技術を総合的に身に付けている。
④知識・理解	ファッションデザインの基礎、発想と表現法や、ファッションを創造的にデザインするために必要な基礎的・基本的な知識を総合的に身に付けている。

- 学習の過程で自己評価を実施しますので、自らの学習状況をチェックし、目標達成に努めましょう。

【販売ビジネス 3単位】

学期	学習内容	学習のねらい	学習活動【評価方法】
1 学期	<p><ファッション販売能力検定（3級）></p> <p>○A科目【I】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ファッション販売知識 ・ファッション・マーケティング知識 ・ファッション販売業務 <p>○B科目【I】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ファッション販売技術 ・店舗演出・VP展開 ・ファッション商品知識 	<p>○ファッション販売能力検定の主旨を理解し、資格取得に取り組む。</p>	<p>○テキスト（ファッション販売3）を読み通しながら、問題集（ファッション販売能力検定試験問題集／3級）を解き、内容を確認し理解する。</p> <p>（学習状況観察）</p> <p>（検定取り組み状況）</p> <p>（定期考査）</p>
2 学期	<p><ファッション販売能力検定（2級）></p> <p>○A科目【II】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ファッション販売知識 ・ファッション・マーケティング知識 ・ファッション販売業務 <p>○B科目【II】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ファッション販売技術1、2 ・店舗演出・VP展開 ・ファッション商品知識 	<p>○ファッション販売能力検定の主旨を理解し、資格取得に取り組む。</p>	<p>○テキスト（ファッション販売2）を読み通しながら、問題集（ファッション販売能力検定試験問題集／2級）を解き、内容を確認し理解する。</p> <p>（学習状況観察）</p> <p>（検定取り組み状況）</p> <p>（定期考査）</p>
3 学期	<p><デザインの目的と発想></p> <p>○デザインの目的と意義</p> <p>○デザインの目的と問題点</p> <p>○ファッションデザインの条件</p> <p>○目的と条件を満たしたファッションデザイン</p>	<p>○何のためにデザインするのかを明確にする。</p> <p>○生活環境を取り巻く環境と衣服について問題意識をもつ。</p> <p>○快適性・自己表現・強調と連帯感・衣服の管理と耐久性等を知る。</p> <p>○目的に合った衣服をイメージ・デザインし、提案する。</p>	<p>○デザインを総合的に捉える。</p> <p>○今ある衣服のあり方をもう一度見直して調べてみる。</p> <p>○繊維素材や衛生的機能、衣服構成などの基礎知識を振り返り、ファッションデザインのために必要な条件を考える。</p> <p>（学習状況観察）</p> <p>（自己評価）</p>

【テキスタイル 3単位】

学期	学習内容	学習のねらい	学習活動【評価方法】
1 学 期	<p>○校内にある天然（植物）染料を知る。</p> <p><染め物コース></p> <p>○天然染料を使い草木染めをする。 ○数種の媒染液に木綿と絹を染める。 ○絞り染めをする。</p> <p><織り物コース></p> <p>○機織り機を使った織りをする。 ・巻取り→綜洗通し→箆通し→製織</p>	<p>○身近にある植物が天然素材となる事を知る。</p> <p>○草木染めの方法と媒染の効果を知る。 ○絞り染めの方法を知る。</p> <p>○機織りの方法を学ぶ。</p>	<p>○植物を採取する。</p> <p>○草木染めをし、媒染液を作って色の変化を調べて標本を作る。</p> <p>○織り柄のデザインを決めて織り上げる。</p>
2 学 期	<p><染め物コース></p> <p>○機織り機を使った織りをする。 ・巻取り→綜洗通し→箆通し→製織</p> <p><織り物コース></p> <p>○天然染料を使い草木染めをする。 ○数種の媒染液に木綿と絹を染める。 ○絞り染めをする。</p> <p>《染め物・織り物コース》</p> <p>○産業教育フェアに向けた作品を製作する。</p>	<p>○機織りの方法を学ぶ。</p> <p>○草木染めの技法と媒染の効果を知る。 ○絞り染めの技法を知る。</p> <p>○染め、織りを作品に効果的に活かす。</p>	<p>○織り柄のデザインを決めて織り上げる。</p> <p>○草木染めをし、媒染液を作って色の変化を調べて標本を作る。</p> <p>○染め・織りを取り入れた作品を仕上げ、ファッションショーに出品する。</p>
3 学 期	<p>《染め物・織り物コース》</p> <p>○筒引きによる染色をする。 ・糊作り→デザイン→乾燥→染色→媒染</p> <p>○自由作品を製作する。</p> <p>○作品発表会</p>	<p>○筒引きの技法を知る。</p> <p>○筒引きで染色した布地を作品に活かす。</p> <p>○自他の作品の違いを知り、互いに認め合う。</p>	<p>○糊の作り方や防染の方法を学ぶ。</p> <p>○小物類や簡単な被服を製作して仕上げる。</p> <p>○作品を発表し、互いで評価し合う。 (学習状況観察) (定期考査) (提出物) (自己評価)</p>

【色彩 1単位】

学期	学習内容	学習のねらい	学習活動【評価方法】
1 学期	<ul style="list-style-type: none"> ○ オリエンテーション ○ 色彩検定3級対策 1. 色彩と生活 <ul style="list-style-type: none"> ・ 色彩の働き 2. 色の表示 <ul style="list-style-type: none"> ・ 色の三属性と色立体 ・ マンセル、PCCS 3. 光と色 <ul style="list-style-type: none"> ・ 照明、混色 4. 色彩心理 <ul style="list-style-type: none"> ・ 色の心理的効果 ・ 色の持つ視覚効果 5. 色彩調和 6. ファッション 7. インテリア 8. 環境 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 色彩の三属性と色調、配色の基礎について理解させる。また、色彩のもつイメージや色に対する感情など、色彩心理も扱う。ファッションイメージと関連させながら、感性を高めるようにする。 ○ ハモニーとコントラスト、バランスとシンメトリー、リズムとプロポーションなどを取り上げ、各要素をファッションデザインを美しくまとめ上げることができるようにする。 ○ 夏季色彩検定で3級を取得する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教科書、ワークシート、実験、実習、演習等を通して、色彩の三属性と色調、配色の基礎や色彩のもつイメージや色に対する感情、色彩心理に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得する。 ○ 夏季色彩検定で3級を取得する。 <p>【学習状況観察】 【ワークシート】 【定期考査】 【検定結果】 【自己評価】【作品】</p>
2 学期	<ul style="list-style-type: none"> ○ 色彩検定2級対策 1. 色彩と文化 <ul style="list-style-type: none"> ・ ヨーロッパと日本の色彩文化 2. 色の表示 <ul style="list-style-type: none"> ・ オストワルト表色系、NCS ・ XYZ表色系の入門 3. 光と色 <ul style="list-style-type: none"> ・ 光の性質 ・ 色覚説 4. 色彩心理 <ul style="list-style-type: none"> ・ 色の知覚的効果 ・ 心理的評価方法 5. 色彩調和 6. 色彩効果 7. ファッション 8. インテリア 9. 環境 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 3級で学んだ色の基礎に加えて、新たな専門知識を身に付ける。 ○ 色彩学を、文化・科学・心理・調和・ファッション・インテリア・環境等の多方面から深く具体的に学び、専門基礎レベルの内容を理解し、身に付ける。 ○ オストワルト、NCS、XYZ等の表色系について学び、色を伝達するための具体的使用方法や慣用色名とその由来について深める。 ○ 冬季色彩検定で2級を取得する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教科書、ワークシート、実験、実習、演習等を通して、色彩学の文化・科学・調和・ファッション・インテリア・環境等に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得する。 ○ 夏季色彩検定で3級を取得する。 <p>【学習状況観察】 【ワークシート】 【定期考査】 【検定結果】 【自己評価】【作品】</p>
3 学期	<ul style="list-style-type: none"> ○ 1学期、2学期の復習 ○ パーソナルカラー診断 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 復習を繰り返し行い、実践的な能力を育てる。 ○ 色についてのその他の知識や見聞を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 色彩学を総合的にまとめ、実践的な能力と態度を身につける。 <p>【レポート】【学習状況】</p>

【企画 2単位】

学期	学習内容	学習のねらい	学習活動【評価方法】
1 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ○オリエンテーション ○商品企画販売実習に向けての取組 <ul style="list-style-type: none"> ・実行委員会の発足 ・ブランド名、ロゴの決定 ○マーケティング講座 ○商品企画 <ul style="list-style-type: none"> ・市場調査、情報分析 ・ターゲットの選定、コンセプト決定 ・商品名、デザイン決定 ○商品試作 <ul style="list-style-type: none"> ・商品企画中間発表 ・原価計算、価格設定 	<ul style="list-style-type: none"> ○商品企画の過程や商品を生産するために必要な条件について理解させる。 ○商品企画及び販売の基礎・基本が習得できるようにする。 ○ファッション産業について自ら学び、商品企画に主体的かつ協働的に取り組むことができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○商品企画、生産、流通、販売の過程とそれに関わる職種と役割について考える。 ○ファッション産業の仕組みや商品企画について理解し、商品企画のための情報を収集・整理する。 <p>【学習状況観察】 【提出物】 【自己評価】 【発表資料】</p>
2 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ○商品製作 ○セールスプロモーション講座 ○販売・接客講座 ○店頭での販売 ○成果発表会 	<ul style="list-style-type: none"> ○商品の販売企画、商品構成、販売活動、商品管理などの実習を通してファッション産業について理解させる。 ○成果発表を行うことで、効果的に表現する言語能力の育成を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○消費者の購買意欲を高める販売の効果的な方法を考える。 <p>【学習状況観察】 【提出物】 【商品】 【自己評価】 【発表資料】</p>
3 学 期	<ul style="list-style-type: none"> 卒業作品発表会に向けての取り組み ○ファッションショーの企画・立案 <ul style="list-style-type: none"> ・構成表の作成 ・音響、照明の検討 ・フィッター、進行係の決定 	<ul style="list-style-type: none"> ○ファッションショーへの取り組みを通して、ファッションに関する内容を多方面から具体的に学び、課題解決を図ることができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ファッションショーを通して、課題解決に必要な基礎的・基本的な知識と技術を作品製作することから習得する。 <p>【学習状況観察】 【自己評価】 【作品】</p>